



<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年3月3日

第57回埼玉文芸賞の受賞作品を決定しました —受賞者に対する賞状等の贈呈式を開催します—

埼玉県教育委員会では、県内における文芸活動の振興を図るため、昭和44年に埼玉文芸賞を創設し、文芸各部門の創作活動において特に優れた作品を表彰しています。

令和8年2月6日（金曜日）、さいたま文学館（桶川市）において開催した選考委員会の推薦に基づき、埼玉文芸賞（1点）、同準賞（12点）、同奨励賞（4点）を、次のとおり決定しました。3月21日（土曜日）に開催する贈呈式において、受賞者を表彰します。

なお、受賞作品は「文芸埼玉」第115号（今年6月刊行予定）で掲載又は紹介します。

1 第57回埼玉文芸賞の主な特徴

(1) 幅広い年齢層からの応募

「小説・戯曲部門」「文芸評論・エッセイ・伝記部門」「児童文学部門」「詩部門」「短歌部門」「俳句部門」「川柳部門」の7部門に合計445点の作品が寄せられました。

高校生から90歳代まで幅広い年齢層からの応募がありました。

(2) 高校生4名に奨励賞を贈呈

高校生からは、全8校、合計26点の応募がありました。今回は「児童文学部門」「詩部門」「短歌部門」「俳句部門」で1点ずつ、4名が奨励賞に選ばれました。

2 受賞者及び受賞作品（「」は生原稿・雑誌掲載作品、『』は単行本）

(1) 埼玉文芸賞

【小説・戯曲部門】

「ブレインドロップ」 丹路楨（にろまき）

(2) 埼玉文芸賞準賞

【文芸評論・エッセイ・伝記門】

「長女に生まれて」 築根喜美江（つくねきみえ）

「パパのいない日」 汐野ほの（しおのほの）

【児童文学部門】

「おふとんたろう」 山根三穂（やまねみほ）

「席替え」 芦屋和音（あしやかずね）

【詩部門】

『夜の間はよく晴れるでしょう』 葉山美玖（はやまみく）

「風の配達する住所不明」 田中康士郎（たなかこうしろう）

【短歌部門】

『埼玉は晴れ』 中津川勲坐（なかつがわろくざ）

「こんなにも遠い」 大野博司（おおのひろし）

【俳句部門】

「水笑ふ」 木村佑（きむらゆう）

『ときに鳥』 山本董（やまもとすみれ）

【川柳部門】

「生きる」 山田和子（やまだかずこ）

「半可通」 鎌倉八郎（かまくらはちろう）

(3) 埼玉文芸賞奨励賞

【児童文学部門】

「大切な、人たち」 藤本美沙（ふじもとみさ）

埼玉県立川越女子高等学校在学

【詩部門】

「私、ということ。」 山本紗由美（やまもとさゆみ）

埼玉県立松山女子高等学校在学

【短歌部門】

「今日も」 佐々木琴美（ささきことみ）

埼玉県立春日部東高等学校在学

【俳句部門】

「日常凶鑑」 黒田紗矢（くろださや）

星野高等学校在学

3 選考委員（部門別 50 音順）

【小説・戯曲部門】 中村邦生、三田完、山名美和子

【文芸評論・エッセイ・伝記部門】 加藤有希子、佐藤健一、杉浦晋

【児童文学部門】 金治直美、櫻沢恵美子、森埜こみち

【詩部門】 川中子義勝、北岡淳子、野村喜和夫

【短歌部門】 沖ななも、外塚喬、内藤明

【俳句部門】 尾堤輝義、久下晴美、田口紅子

【川柳部門】酒井青二、相良敬泉、高鶴礼子

4 贈呈式

- (1) 日時 令和8年3月21日（土曜日）13：30～14：30
- (2) 会場 さいたま文学館・桶川市民ホール（併設）
桶川市民ホール1階 プチホール
桶川市若宮1-5-9（JR桶川駅西口徒歩5分）
電話 048-789-1515
- (3) 次第
 - ・主催者挨拶
 - ・選考委員挨拶
 - ・賞の贈呈
 - ・受賞者代表挨拶
- (4) 出席者 受賞者17名（埼玉文芸賞1名、準賞12名、奨励賞4名）
選考委員21名
※一般の方も御観覧いただけます。（当日先着順）

5 問合せ先

文化財・博物館課文学担当（さいたま文学館駐在）埼玉文芸賞担当
〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-9
電話 048-789-1515
ファクシミリ 048-789-1517
E-mail info.saitama-bungaku@kpb.co.jp

【さいたま文学館ホームページ】 <https://www.saitama-bungaku.jp>